

2022.12.9

営業車両に関するカーボンオフセットを活用した脱炭素化活動について

静銀リース株式会社（代表取締役社長 大橋 弘）では、SDGs への取り組みの一環として、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組む企業を金融面から支援するため、環境省の補助事業である ESG リース促進事業の取扱いをはじめとするサステナブルファイナンスの提供に取り組んでいます。

このたび、当社の営業車両から排出された CO₂ に関し、J-クレジット制度^{※1}に基づいたカーボンオフセット^{※2}を実施しましたので、その概要をご案内します。

1. 実施日 12月5日（月）

2. カーボンオフセットの実施について

- 静銀リースでは、従来から営業車両のエコカーへの切り替えや、リース終了物件の適正処理による 3R（リユース、リデュース、リサイクル）促進および廃棄物削減等に取り組んできましたが、こうした削減施策を実施しても、事業活動上避けられない CO₂ 排出分がありました。
- 今般、脱炭素化に向けた取り組みを強化するため、当社の営業車両の走行距離（2021年）に基づき発生した CO₂ 排出分（33 トン/年）について、カーボン・クレジット市場実証事業を通じて購入した J-クレジットにより、カーボンオフセットを実施することとしました。
- あわせて、オフセット金額（クレジット購入額）と同額の 49,500 円を「公益財団法人静岡県グリーンバンク」に寄付します。
- 今後は、当社の営業車両のみならず、リース事業を通じて、地域企業の営業車両などについてもカーボンニュートラルに向け、オフセットを活用した脱炭素化に資するソリューションを提供することで、地域の持続可能な社会の実現を支援してまいります。

※1 J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO₂ 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO₂ 等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度（経済産業省、環境省、農林水産省）。本制度により創出されたクレジットはカーボンオフセットや低炭素社会実行計画の目標達成等に活用可能

※2 カーボンオフセットとは、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせる事

<ご参考>しずおかフィナンシャルグループにおける脱炭素化に向けた取り組みについて

2020年に気候変動が企業の財務内容に与える影響について適切な情報開示を求める「TCFD 提言」に賛同し、気候変動シナリオ分析の高度化など、地域の脱炭素化に資するさまざまな施策に取り組んでいます。

また、こうした活動をさらに加速させるため、2022年5月には、グループにおける温室効果ガス排出量のネットゼロをめざす「2030年度カーボンニュートラル達成」へと目標を引き上げるとともに、「サステナブルファイナンス 2兆円（2030年度までの累計実行額）」の目標を設定し、グループの総合金融サービスやコンサルティング業務を通じてお客さまの脱炭素化に向けた取り組みを支援するなど、地域とともに持続可能な社会の実現に積極的に貢献しています。